

3Dシステムを活用した製品開発

ー令和6年度ものづくり研究会ー

瑞浪市窯業技術研究所では、3Dシステムを活用した製品開発や技術支援、CAD講座による人材育成を進めています。

「ものづくり研究会」では、愛知県立芸術大学 美術学部陶磁専攻の大学生らが市内企業を訪問し、工業製品としての陶磁器について素材や成形方法について調査し、CADデータによる製品開発を行いました。

瑞浪市内の企業を見学

- ◇ 研究会に参加した企業の製造工程を見学
- ◇ 鋳込み、動力成形それぞれの使用型について学び、CADソフトで設計する際の注意点を確認



CADデータによるプレゼンテーション

- ◇ それぞれが設計したCADデータにより、コンセプトや機能についてプレゼンを行った
- ◇ 製造工程上、実際には成形が難しいものやサイズの確認などを行い、CADデータを見直し



切削加工した使用型で成形

- ◇ 完成したCADデータをもとに、切削加工機で原型や使用型を切削
- ◇ ローラーマシンで成形したが、レリーフの高さや勾配細かさ等調整が必要なが分かった



試作した製品の展示発表



- ◇ 試作品を「美濃焼新春見本市」で展示を行い、来場者への説明と意見聴取を行った